

大盛り上がりパチスロ練習 「認知症予防」の決め手になるか

社会貢献・環境対策委員会委員長 薛 博夫



今回は、認知症予備軍の話！
「ものわすれ診断テスト」をする
と、「要注意」の点数が出てしま
いました。もともと、物覚えが悪い
ので、正常だとは思いますが；認
知症の母を見ていて、最近自分自
身本気でやばいと思っていたとこ
ろ；委員会に、認知予防プロジェ
クトという話が持ち込まれました。
渡りに船です(^^)

筑波大学附属病院 この初めは、
大久保正博副会長の紹介で、筑波
大学の朝田隆教授を紹介ください

た所から始まります。パチンコが、
認知予防に役立たないか、という
朝田教授の発想です。

話を聞くと朝田教授のところ
も、OBから認知予防の取り組み
を進めてほしい、との要望が日増
しに強まっているんだそうで；頭
の良い人も悩みは同じなんです
ね。筑波大学附属病院デイケア認
知予防教室に、脳科学の篠原菊紀教
授の協力も得て、日遊協がパチス
ロ台を持ち込みました。「パチスロ
で、認知予防」という実験開始です。
パチスロの目押し練習機 認知予
防効果を高めるには「運動」と

「考える事」を同時に行う、ダブ
ルタスクが効果的だそうです。今
回持ち込んだパチスロ機は、コン
セプト機をさらに改造して高齢者
向き目押し練習機に仕立てた「認
知予防特別仕様機」です（見た目



高齢者にパチスロの説明をする薛委員長（中央立っている）

はジャグラー、番長、ケロットで
すけどね；）。

日電協さん、メーカ
ーさんに協力していた
だきました。目押しの、
脳の活性化効果はす
でに実証済み。筑波大学
附属病院にお盆期間中、
毎回40人の高齢者を集
めて目押し勉強会を開
催しました。

結果、大変な盛り上
がり。指導役の委員会
メンバーがヘトヘト、
脱水症状になるぐらいの大盛況で
した。この後自習をしてもらい1
か月後の目押し大会で、腕前を披
露してもらおう予定です。

認知予防にパチンコは ここまで
読んで、皆さんも、あれ？高齢者
はパチスロよりパチンコの方が馴
染むのでは、と思われた事と思
います。実際、参加者からもパチン
コをしたいとの要望が強いのは事
実。さらには、手打ちをしたい！
との要望です。

でも、電動式でしかも技術介入
の限りなく少ない現代版のパチン
コ機は、そのままでは認知症予防
効果が期待できません。プログラ

ムを改造して、液晶にクイズを流
し；などの案もあります。私
の意見は「学校さ
ぼってパチンコす
るのが楽しいので、
学習はパチンコと
合わない」(笑)；
暴論でしょうか？



冗談はさておき、
手打ちの機械の新
規開発はとてつも
なくハードルが高
いので、宿題とな
っています。そうそ

う、日遊協の発表したコンセプト
機に、手打ちの「雀球」(サミーさ
ん)がありましたので、次回これ
を教室に持ち込む予定です。

結果は後日 研究は始まったばか
り、お盆明けには連携している東
京医科歯科大学で中間発表する予
定です。研究者の注目は高く、今
後は目押し機の改良(リール速度
の可変や、手打ちの雀球なども投
入予定です。

私の認知予防につながれば、効
果的だと証明できるかもしれませ
ん。植林活動や節電対策も有意義
ですが、本業で社会貢献が出来る
ならとてもうれしいことですよ。